

アクティブラーナー水準調査結果から見た 4年間の学びのリフレクション

日時

平成30年3月2日(金)

13:10~17:00

(終了後、18時30分頃まで情報交換会)

場所

京都光華女子大学
徳風館6F小講堂

※お車でのご来場はご遠慮ください



大学教育再生加速プログラム

平成26年度採択のAP(大学教育再生加速プログラム)事業も、今年度で4年目を迎えました。本学のAP事業の目的は「アクティブラーナーの育成」であり、アクティブラーナー水準の値を測定し、その結果を個々の学生にフィードバックしています。本報告会では、AP事業で推進する授業と授業外学習環境の中で、いかに学習し、アクティブラーナー水準を向上させたかを、3名の学生とのディスカッションを通じて可視化します。

PROGRAM

第1部

13:10~14:30

本学APの事業内容

AP事業の概要

酒井 浩二(本学 キャリア形成学科教授)

アクティブラーナー水準調査の概要

酒井 浩二(本学 キャリア形成学科教授)

授業と学習支援の実践報告

①キャリア形成学科 阿部 一晴(本学 キャリア形成学科教授)

②健康栄養学科 桑島 千栄(本学 健康栄養学科准教授)

③看護学科 徳永 基与子(本学 看護学科准教授)

④学習ステーション 塩崎 正司(本学 学習ステーション)

第2部

14:40~15:35

アクティブラーナーとしての4年間の成長

学生の成長過程の可視化

藤原 加織(本学 EM・IR部)

学生による4年間の学びの報告

〈コーディネータ〉 藤田 大雪(本学 キャリア形成学科講師)

〈発表者〉

キャリア形成学科、健康栄養学科、看護学科の学生各1名

第3部

15:45~16:50

パネルディスカッション

アクティブラーナー水準調査から見た4年間の学び

〈司会〉 藤田 大雪(本学 キャリア形成学科講師)

〈パネリスト〉

キャリア形成学科、健康栄養学科、看護学科の学生各1名

乾 明紀(本学 キャリア形成学科准教授)、桑島 千栄、徳永 基与子

情報交換会(17:00~18:30) 場所:本学 瑞風館 食堂

FAX申込書

「アクティブラーナー水準調査結果から見た4年間の学びのリフレクション」

FAX 075-325-5317

申込方法

本学学生サポートセンターまでTEL・e-mailまたはFAXにてお申し込みください。その際に、お名前・ご住所(任意)・連絡先(TEL・e-mail)・参加人数をお知らせください。

※FAXの場合は、下記の申込書をご利用ください。

申込締切

平成30年**2月24日(土)**

※定員になり次第、締め切らせていただきます。

定員 150名

お申込日	平成30年	月	日	フリガナ お名前	
参加人数 ※申込者含む	[成果報告会] ご出席()名・ご欠席()名		/[情報交換会] (会費/1,000円) ご出席()名・ご欠席()名		
ご住所	〒	都道府県	区市郡		
連絡先	<input type="checkbox"/> TEL		<input type="checkbox"/> e-mail		
連絡事項					

※上記の個人情報は、成果報告会の運営および今後の教育事業(本学公開講座のご案内等)に関してのみ利用させていただきます。

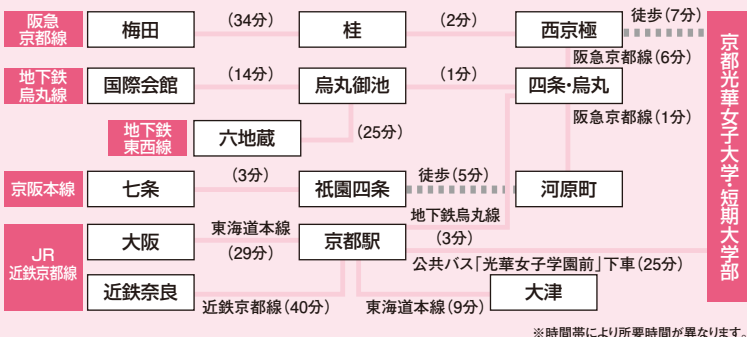
申し込み・お問い合わせ先

京都光華女子大学 学生サポートセンター

〒615-0882 京都市右京区西京極葛野町38
TEL:075-325-5309 kyomu@mail.koka.ac.jp
※月～金10:00～16:00[土・日・祝はTEL以外の受信のみ]

Access MAP

梅田から約40分 / 大津から約30分 / 奈良から約60分



バス情報	京都市営バス 特27・32・73・80・84系統 [京都駅発]73系統(烏丸口 C5のりば) 84系統(八条口 4のりば)	京阪京都交通バス 21・21A・27系統 [京都駅発]全系統(烏丸口 C2のりば)	京都バス 81・84系統 [京都駅発]84系統(烏丸口 C6のりば)	下車はすべて 「光華女子学園前」 です
-------------	--	--	---	-------------------------------

文部科学省 平成26年度 「大学教育再生加速プログラム」^(※1) に採択

大学・短大
テーマ別の
ダブル採択は
全国唯一

本学は大学・短期大学部ともに申請を行い、大学は「テーマI(アクティブ・ラーニング)」、短期大学部は「テーマI(アクティブ・ラーニング)・II(学修成果の可視化)複合型」で採択されました。

京都光華女子大学

- 育成する女性像**
- 問題解決に向けて、自らの行動をマネジメントできる力を持つ女性
 - 実践力を身につけ、積極的に行動できる女性
 - リーダーシップを発揮できる女性

本事業は、アクティブ・ラーニング(AL)を「知識やスキルの習得に向けて資源を自立的に有効活用する学びの態度」と定義し、「学習・学修マネジメント力」を向上させる学習支援体制を全学的に構築します。

京都光華女子大学短期大学部

- 育成する女性像**
- 自分の未来をデザインできる実践者
 - 豊かなコミュニケーション能力を備える社会人
 - 身近な環境を科学的に考える生活者

「短期大学における社会人基礎力育成の1つのモデル」と評価^(※2)された、本学の社会人基礎力育成科目群へのアクティブ・ラーニング(AL)の導入実績をふまえ、このたび、ALを多様な専門分野、基礎学力育成分野、人間性育成分野へ全面的かつ組織的に拡大します。

(※1)「大学教育再生加速プログラム(Acceleration Program for University Education Rebuilding: AP)」は、国として進めるべき大学教育改革を一層推進するため、内閣総理大臣が開催している教育再生実行会議等で示された新たな方向性に合致した先進的な取組を実施する大学を支援することを目的としています。(※2)社会人基礎力育成グランプリ2014(社会人基礎力協議会)で準大賞受賞。「社会人基礎力を育成する授業30選(経済産業省)」に選ばれました。